

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「性欲絶対主義」

テーマ：「美少女なのに、ド変態な美少女」

キャラクター

40

ストーリー

35

テーマ(設定)

35

文章力

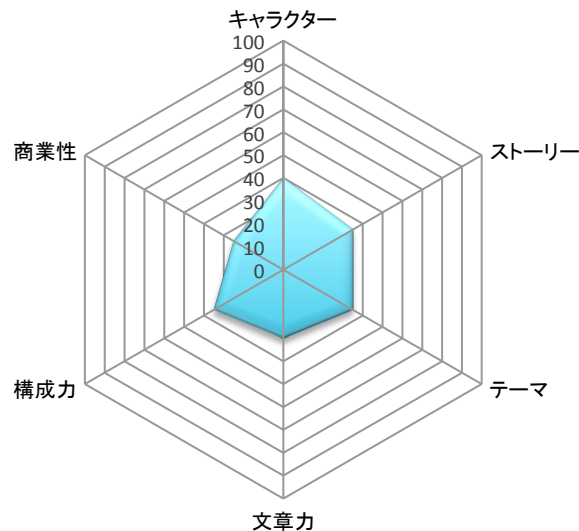
30

構成力

35

商業性

25



・見受けられる基礎的な問題点

- キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- 物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- 物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- 物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- 意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- 時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- 物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- 文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- 伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- 笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- 「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・作風がラノベなのか一般小説なのか分からない立ち位置にあり読みにくくなっているため、いっそ文体をどちらかに傾けてしまうことでより面白い作品になったのではないかと感じる。極端に言うところショートケーキとラーメンを一緒に食べさせられているような感覚。どちらも美味しいがどちらかを単品で美味しく食べさせて欲しい。恐らくストーリーラインが完全にラノベテイストであるため、1. 地の文をなるべく減らし、2. 改行を増やして見やすい体裁を整え、3. いい意味でラノベらしい馬鹿な文章を増やす、等、見た目をよりラノベに近づけることで作品の魅力が増すと考えられる。

・土辺の魅力がそれなりに面白く描かれている一方で、主人公が普通過ぎる(もしくは普通以下)であるため、読んでいて主人公にうまく感情移入ができない仕様になっている。そのため土辺自身の魅力も主観ではなくあくまで客観的にしか見えず、せっかく紡いだキャラクタの魅力が感じられないという意味で非常に損をさせてしまっている。そう感じる原因として、やはり主人公の思う所が地の文で書かれ過ぎていたため、どうしても主人公が固い人間に見えて来ってしまう点にあると思われる。やはりよりラノベらしくフランクな文体に変えることが望ましい(作者様からラノベのストーリーラインを紡ぐ才能的なものを感じるため、その才能を生かす意味でも文体そのものをラノベテイストに近づけるべきだと感じる)

・作品投稿期間外で投稿したことによるペナルティ(-10×遅延分数)

合計減点ポイント: -10

総得点: 200 / 600

B方式総合得点: 5667 点